

3) 専門医生涯教育委員会

委員長：野口 昌彦

委員：秋元 正宇、柏木 慎也、川上 善久、小室 明人、近藤 昭二
鈴木 良典、竹内 正樹、館 正弘、浜島 昭人、福田 憲翁

開催年月日：2023年2月18日（更新審査委員会：WEB会議）、メール委員会

活動内容：

1. 日本専門医機構の整備指針変更にもなう通知および細則の変更
2. 専門医資格更新申請手続きの電子申請化
3. 2022年度専門医資格更新審査
4. 専門医講習審査（領域講習および共通講習）
5. 委員会承認の関連学会・研修会等の更新および新規申請審査
6. その他（共通講習B講習免除に関する“多様な地域”に関する検討、機構専門医登録システムへの登録手続きなど）

活動の概要：

1. 日本専門医機構の整備指針変更にもなう通知および細則の変更
 - ・“留保”制度が廃止され、新たな制度として“猶予”および“活動休止”が導入された。内容を会員へ通知するとともに、制度の変更にもない必要となった細則の修正を行い、第2回理事会にて承認をされた。また本年1月に機構より“活動休止”期間の上限として最大5年が通達された。
2. 専門医資格更新申請手続きの電子申請化
 - ・本年度より専門医更新申請においては会員マイページ内の入力フォームからの申請に一本化され運用が開始された。
3. 2022年度専門医資格更新審査
 - 委員会活動：
新制度に基づき更新審査の手引きの改訂を行い、会告として告知した（6月）。
専門医更新審査会を2023/2/18に開催。
本年度の専門医資格更新審査対象者は506名で、申請者は408名であった。そのうち更新を承認された者は406名、書類不備により追加書類などの再提出後の再承認審査対象者が17名であった。
未提出者の合計は82名であった。
猶予申請は12名で、12名の猶予が認められた。また活動休止は4名であった。
入力システムの電子化にもない審査の効率性が向上した。
 - ・会員マイページとの連動がないことから、「単位自由登録」を入力して受講証明書をアップロードする必要がある。
4. 専門医講習審査
 - WEB上で施行。現在までに領域講習162件、共通講習19件の審査を行った。（2023年3月末日現在）
 - *審査を通じ昨年の本会議でも報告したが、領域講習の申請においては「演題名において形成外科医にとっての有益性が示される必要がある点」を、また共通講習の申請においてはその特性から他の診療科の医師を含め、より明確な公益性と講演者自信の背景が必要な点が指摘された。
5. 委員会承認の関連学会・研修会等の更新および新規申請審査

25 件の更新につき審査を行い、23 件承認とした。

6. その他

- ・機構の示す“多様な地域”（足下充足率 0.8 以下が現在最も言われている基準）の解釈が曖昧であることおよび 2025 年 11 月までの段階で判断出来れば良いことから、他の基本領域学会の対応を確認しつつ進めることになった。
- ・機構の専門医登録システムへの登録手続き
- ・専門医更新における診療実績提示の免除の見直し(シニアキャリア検討 WG が新設された)
- ・活動休止期間の上限設定 MAX5 年

3-i) 学会システムワーキンググループ

委員長：久保 盾貴

委員：伊藤 文人、上田 晃一、大塚 尚治、川上 善久、中川 雅裕
塗 隆志、林田 健志、福田 憲翁、松本 洋

開催年月日：メール会議

主な議題：1. 会員カード登録状況

会員 5,502 名中 4,009 名登録(72.9%)、専門医 2,895 名中 2,783 名登録(96.1%)、非専門医 2,607 名中 1,226 名登録(47.0%)